

June bride — 六月の花嫁さん

家に帰ってパートナーがいるのは嬉しい!



明るく助け合っている家庭をつくっていききたい!



何があっても一人じゃない。結婚して良かった!

コミュニティ いばらき

結婚・子育てを応援します!

潮来の嫁入り船に乗る予定のカップルの皆さんです。少子化の進行をくい止めるためには、二人が出会い、結婚し、子育てをしていく、素敵なライフステージを築き、子どもたちが伸び伸びと暮らすことのできる環境が不可欠です。今回は、県が実施している結婚・子育て支援の主な取り組みについてご紹介します。

☎ 県子ども家庭課 ☎029(301)3261 ☎3269

茨城県子ども家庭課

検索

未婚の増加と少子化対策

本県の出生数は、第二次ベビーブームの影響で昭和四十八年には約四万二千人でしたが、平成二十年には二万四千五百九十二人と半数近くになっています。

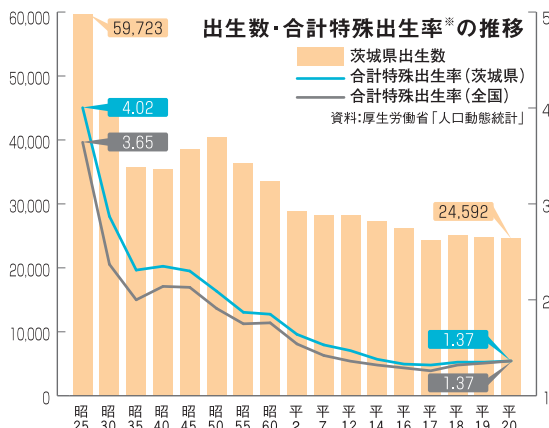
少子化の進行は、未婚化と晩婚化の進行が大きな要因となっています。

二十五歳から二十九歳の本県の未婚率は、昭和五十年では男性が四六・四パーセント、女性が一六・九パーセントでしたが、平成十七年には男性が七〇・〇パーセント、女性が五五・六パーセントと大幅に上昇しました。

平均初婚年齢についても、平成二十年では男性が三〇・一歳、女性が二八・一歳で、昭和五十年より約四歳ほど上昇しています。

また、子育てに対する経済的負担や、仕事と結婚・出産・子育ての両立の難しさなども少子化の背景として挙げられています。

このような状況を打開するために、県では「大好きいばらき新エンゼルプラン21」に基づき、「子育て」 「親育ち・地域づくり」 「次代の親づくり」の三つの基本方針のもと、子育て家庭を社会全体で支援し、次代を担う子どもたちが健やかに生まれ、育まれる社会の実現を目指して、積極的に少子化対策に取り組んでいます。



*合計特殊出生率…一人の女性が生涯、何人の子供を産むかを推計したものと

婚活を応援します

【いばらき出会いサポートセンター】

いばらき出会いサポートセンターは、結婚を希望する独身男女に出会いの機会を提供するために、平成十八年に設立されました。水戸市の県三の丸庁舎に本部が、日立市・鹿嶋市・牛久市・結城市に地区センター



新しい出会いをコーディネート

があります。同センターでは会員制のパートナー紹介（登録料三年間有効一万円）や、ふれあいパーティーの開催などを行っており、二十人の相談員が、会員の婚活をサポートしています。会員数は約二千八百人（平成二十二年四月末現在）であり、これまで四百五十一組（会員以外との結婚を含む）が成婚しました。



結婚・子育て応援ナビ 検索

「結婚応援ナビ」では、出会いから結婚、結婚生活について、「子育て応援ナビ」では妊娠、出産、子育てについてのアドバイスやエピソードを掲載しています。本県と関わりのある著名人や、一般の方からのメッセージも参考にあります。結婚・子育て世代の皆さんに読みやすい構成です。ぜひご覧ください。

「結婚応援ナビ」
「子育て応援ナビ」を発行

お問い合わせセンター
0296(2024)00808
HP「いばらき出会い」を検索



放課後
子どもプラン

地域の方々の参画を得て学習活動やスポーツ、文化芸術活動などの体験活動、地域住民との交流活動を行う「放課後子ども教室」と、留守家庭の児童を対象に生活や遊びの場を提供する「放課後児童クラブ」を一体的あるいは連携して実施することにより、すべての子どもたちを対象に、総合的な放課後対策（放課後子どもプラン）を進めています。

	放課後子ども教室 (文部科学省 放課後子ども教室推進事業)	放課後児童クラブ (厚生労働省 放課後児童健全育成事業)
目的	○安全・安心な子どもたちの居場所づくり	○子育てと仕事の両立支援
対象児童	○活動を希望するすべての児童	○昼間、保護者が就労等で家庭にいない概ね10歳未満の児童
実施日	○放課後、土曜日など(教室により異なります)	○放課後、長期休業期間など
活動場所	○主として小学校の余裕教室、体育館、校庭など	○小学校の余裕教室、児童館、保育所など
運営体制	○ボランティアなどとして、コーディネーター(※1)や学習アドバイザー(※2)、安全管理員(※3)などが児童を受け入れている	○放課後児童指導員(※4)を配置し、放課後児童を受け入れている

※1 コーディネーター
学校や関係機関との連絡調整、人材確保、活動プログラムの作成など、総合的な調整を行います。

※2 学習アドバイザー
子どもたちの学習活動をサポートします。

※3 安全管理員
活動中の子どもたちの安全を見守ります。

※4 放課後児童指導員
遊びを主として放課後児童の健全育成を図ります。



放課後も元気いっぱい

授業が終わった子どもたちが、次々と集まってくる大宮北小学校の子ども教室は、三年前から、子どもたちの安全で安心な居場所づくりのために開設されています。登録児童は全校児童の約半数の六十七人、保護者や地域住民などボランティア十二人が指導員として活動しています。子どもたちは宿題をした後、サッカーやキックベースなどの外遊びや、室内で読書やDVD鑑賞などをして午後四時四十分まで過ごします。指導員の紺野京子さんは「安心して子どもを預けられる場として、お母さんたちに喜ばれています。子ども同士の話しながらも広がっています」と話してくれました。

大宮北小放課後子ども教室
〔常陸大宮市〕